

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                 |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)社会医療法人中央会介護医      | 階数     | 地上4F地下0F        |
| 建設地      | 兵庫県尼崎市南塚口町6丁目156番     | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 第1種中高層住専、準防火地域        | 平均居住人員 | 288 人           |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 病院                    | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2024年8月 予定            | 評価の実施日 | 2023年4月18日      |
| 敷地面積     | 5,054 m <sup>2</sup>  | 作成者    | 株式会社内藤建築事務所     |
| 建築面積     | 3,252 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2023年4月18日      |
| 延床面積     | 10,110 m <sup>2</sup> | 確認者    | 株式会社内藤建築事務所     |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 93% (170 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 93%

④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

| 3 設計上の配慮事項   |  |  |
|--|--|--|
| <b>総合</b><br>高効率照明やリサイクル材を採用し、環境負荷を低く抑えらえる建築物となるよう配慮した。                |  | <b>その他</b><br>特になし   |
| <b>Q1 室内環境</b><br>ホルムアルデヒドの放散量が少ない建材の採用や自然換気性能を確保し、空気質環境を高めている。        | <b>Q2 サービス性能</b><br>配管部材は耐用年数の長いものを採用し、維持管理に配慮している。      | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>特になし                                    |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>建物の断熱性能を高め、冷暖房負荷を抑え、LED照明を採用するなど、エネルギー消費の低減に努めている。 | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>リサイクル建材を導入し、省資源への取り組みを行った建物としている。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>ライフサイクルCO <sub>2</sub> を参照値内におさめるよう配慮している。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される